

HITACHI

Groupmax System Agent - TCP/IP Version 5

システム管理者ガイド

マニュアルの購入方法

このマニュアル，及び関連するマニュアルを御購入の際は，巻末の用紙を御利用ください。

このマニュアルは、次に示すプログラムプロダクトの発行によって、第1版(3000-3-A50)として発行するものです。

P-1646-723 Groupmax System Agent - TCP/IP Version 5 05-00 (適用OS: HI-UX/WE2 04-00以降)

P-1B46-7231 Groupmax System Agent - TCP/IP Version 5 05-00 (適用OS: HP-UX 10.10, HP-UX 10.20)

P-1B46-7531 Groupmax System Agent - TCP/IP Version 5 05-00 (適用OS: HP-UX 11.00)

輸出時の注意

この製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制を御確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、御不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

HP-UXは、米国Hewlett-Packard Companyのオペレーティングシステムの名称です。

Microsoftは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corp.の登録商標です。

UNIXは、X/Open Company Limitedが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Windowsは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corp.の登録商標です。

Windows NTは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corp.の登録商標です。

MC/ServiceGuardは米国Hewlett-Packard Companyの米国ならびに他の国における商品名称です。

平成 11年 6月 (第1版) 3000-3-A50

はじめに

このマニュアルは、次に示すプログラムプロダクトの機能、概要及び運用方法を説明したものです。

P-1646-723 Groupmax System Agent - TCP/IP Version 5

P-1B46-7231 Groupmax System Agent - TCP/IP Version 5

P-1B46-7531 Groupmax System Agent - TCP/IP Version 5

なお、このマニュアルでは、上記のプログラムプロダクトをSystem Agent - TCP/IPと表記しています。

〈対象読者〉

このマニュアルは、System Agent - TCP/IPを使用して、Groupmaxのサーバ系製品を管理する方を対象としています。また、UNIXを理解している方を前提としています。

〈マニュアルの構成〉

このマニュアルは、次に示す四つの章と付録から構成されています。

第1章 概要

システム統合運用管理システムと、その一部であるSystem Agent - TCP/IPの機能概要について説明しています。

第2章 環境設定

System Agent - TCP/IPを操作する前に必要な、インストール及び環境設定の方法について説明しています。

第3章 起動と停止

System Agent - TCP/IPを起動又は停止する方法について説明しています。

第4章 運用コマンド

System Agent - TCP/IPが提供する運用コマンドについて説明しています。

付録A デーモン実行時のメッセージ

System Agent - TCP/IPの各デーモンを実行しているときに表示されるメッセージについて説明しています。

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

運用コマンドを実行しているときに表示されるメッセージについて説明しています。

〈関連マニュアル〉

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

Windows NT Groupmax System Manager - TCP/IP/System Agent - TCP/IP Version 5システム管理者ガイド (3020-3-A82)

System Manager - TCP/IPについて知りたい場合に参照してください。

Groupmax Object Server Version 5システム管理者ガイド (3000-3-A40)

データベースの状態について知りたい場合に参照してください。

HI-UX/WE2 システム管理 導入・保守編 (3000-9-106)

HI-UX/WE2 システム管理 導入・保守編 (3000-9-107)

HI-UX/WE2 システム管理 導入・保守編 (3000-9-701)

HI-UX/WE2のプログラムのインストール、アンインストール及び保守の方法を知りたい場合に参照してください。

はじめに

〈このマニュアルで使用する記号〉

このマニュアルで使用している記号について説明します。

| 記号 | 意味 |
|-----|----------------|
| < > | ボタンを示します。 |
| [] | キー又はコマンドを示します。 |

〈このマニュアルの図中で使用する記号〉

このマニュアルの図中で使用している記号を次に示します。

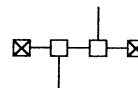
●ワークステーション,
パーソナルコンピュータ



●プログラム



●LAN



〈このマニュアルで使用する略語〉

このマニュアルで使用している主な英略語を次に示します。

| 正式名称 | 英略語 |
|---|--------|
| Digital Audio Tape | DAT |
| Transmission Control Protocol/Internet Protocol | TCP/IP |

〈このマニュアルで使用する略称〉

このマニュアルでは、製品名称を次の略称で表記しています。

| 正式名称 | 略称 | |
|---|---------------------------------------|------------|
| Groupmax Document Manager Version 5 | Document Manager | |
| Groupmax Form Server - Processing Option Version2.0 | Form Server - Processing Option | |
| Groupmax Mail - Administrator Utilities Version 3 | Mail - Administrator Utilities | |
| Groupmax Address Server - Data Collection Version 5 | Address Server - Data Collection | |
| Groupmax Object Server Version 5 | Object Server | |
| Groupmax Scheduler Server Version 5 | Scheduler Server | |
| Groupmax System Agent - Extension Version 3 | System Agent - Extension [※] | |
| Groupmax System Agent - TCP/IP Version 5 | System Agent - TCP/IP [※] | |
| Groupmax System Manager - Extension Version 3 | System Manager - Extension | |
| Groupmax System Manager - TCP/IP Version 5 | System Manager - TCP/IP | |
| Groupmax Voice Mail - Gateway Version2.0 | Voice Mail - Gateway | |
| Microsoft (R) Windows NT (R) Server Network Operating System Version 3.51 | Windows NT 3.51 | Windows NT |

| 正式名称 | 略称 |
|---|----------------|
| Microsoft (R) Windows NT (R) Workstation Network Operating System Version 3.51 | |
| Microsoft (R) Windows NT (R) Server Network Operating System Version 4.0 | Windows NT 4.0 |
| Microsoft (R) Windows NT (R) Workstation Network Operating System Version 4.0 | |

注※

UNIX対応とWindows NT対応の製品を区別する場合は、Windows NT対応の製品を「Windows NT System Agent - Extension」及び「Windows NT System Agent - TCP/IP」と表記します。

〈オンラインヘルプの活用法〉

System Agent - TCP/IPは、System Manager - TCP/IPと組み合わせて、システム統合運用管理システムを実現しています。System Manager - TCP/IPの操作について知りたい場合は、System Manager - TCP/IPのオンラインヘルプを参照してください。

〈マニュアルで使用する用語〉

このマニュアルで使用する用語について説明します。

- Groupmaxサーバとは、Groupmaxのサーバ系の製品を示します。
- OSによって記述内容が異なる場合は、「HI-UX/WE2の場合」「HP-UXの場合」のように、場合分けをして記述しています。
- △は半角スペースを表しています。

Groupmax Enterprize Version 6 でこのマニュアルを御利用のお客様へ

マニュアル名称： Groupmax System Agent - TCP/IP Version 5 システム管理者ガイド

資料番号：3000-3-A50

(株)日立製作所

ソフトウェア事業部

テクニカルインフォメーション部

このマニュアルは Version 5 のシステムで御利用になることを前提として記述しております。Version 6 のシステムで御利用になる場合、本文中で参照している次のマニュアルについては、Version 6 に対応するものが発行されておりますので、次の表に従って読み替えていただくようお願いいたします。

| 本文中のマニュアル名 | 読み替え後のマニュアル名 |
|--|--|
| Groupmax Object Server Version 5 システム管理者ガイド (3000-3-A40) | Groupmax Object Server Version 6 システム管理者ガイド (3000-3-475) |

注 本文中では、資料番号（例：“3020-3-960”）は付いておりません。

目次

| | |
|--|-----------|
| 1. 概要 | 1 |
| 1.1 システム統合運用管理システム | 2 |
| 1.2 システム構成 | 3 |
| 1.2.1 システム統合運用管理システムの構成 | 3 |
| 1.2.2 システム構成時の注意事項 | 3 |
| 1.3 System Agent - TCP/IPの概要 | 5 |
| 1.4 System Agent - TCP/IPの機能 | 6 |
| 1.4.1 「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンの機能 | 6 |
| 1.4.2 「Groupmax System Agent - TCP/IP RAS」デーモン | 8 |
| 1.4.3 「Groupmax System Agent - TCP/IP Admin」デーモン | 8 |
| 1.4.4 「Groupmax System Agent - TCP/IP Bkup」デーモン | 8 |
| 2. 環境設定 | 9 |
| 2.1 インストールする前に | 10 |
| 2.2 インストールとアンインストール | 11 |
| 2.2.1 インストール | 11 |
| 2.2.2 アンインストール | 11 |
| 2.3 環境設定 | 13 |
| 2.3.1 servicesファイルの設定 | 13 |
| 2.3.2 自動起動の設定 | 13 |
| 3. 起動と停止 | 15 |
| 3.1 起動 | 16 |
| 3.1.1 起動方法が「手動」の場合 | 16 |
| 3.1.2 起動方法が「自動」の場合 | 16 |
| 3.2 停止 | 17 |
| 4. 運用コマンド | 19 |
| 4.1 運用コマンド一覧 | 20 |
| 4.2 運用コマンドの指定方法 | 21 |
| 4.3 運用コマンドの文法 | 22 |
| 付録 | 29 |
| 付録A デーモン実行時のメッセージ | 30 |
| 付録A.1 メッセージの出力先 | 30 |
| 付録A.2 メッセージの形式 | 30 |
| 付録A.3 メッセージ一覧 | 30 |
| 付録B 運用コマンド実行時のメッセージ | 34 |
| 付録B.1 sysagtコマンド | 34 |
| 付録B.2 sysasetコマンド | 39 |
| 付録B.3 sysaautoコマンド | 44 |
| 付録B.4 sysactlコマンド | 45 |
| 索引 | 49 |

目次

図目次

| | |
|-------------------------------|---|
| 図1-1 システム統合運用管理システムの構成図 | 3 |
|-------------------------------|---|

表目次

| | |
|---|----|
| 表4-1 System Agent - TCP/IPの運用コマンド一覧 | 20 |
|---|----|

1. 概要

システム統合運用管理システムは、System Manager - TCP/IPと、System Agent - TCP/IP、又はWindows NT System Agent - TCP/IPで構成されています。

この章では、システム統合運用管理システムと、その一部であるSystem Agent - TCP/IPの概要及び機能について説明します。

- 1.1 システム統合運用管理システム
- 1.2 システム構成
- 1.3 System Agent - TCP/IPの概要
- 1.4 System Agent - TCP/IPの機能

1. 概要

1.1 システム統合運用管理システム

Groupmaxのような各種サーバで構成される大規模なシステムでは、効率的に各種サーバを管理するために、統合された管理システムが必要になります。Groupmaxでは、System Manager - TCP/IP, System Agent - TCP/IP又はWindows NT System Agent - TCP/IPによって、統合された管理システムを実現しています。これをシステム統合運用管理システムといいます。システム統合運用管理システムを利用することによって、Groupmaxサーバを監視し、統合的に管理します。

Groupmaxサーバを統合的に管理することによって、マルチサーバ環境での運用管理作業を軽減できます。

システム統合運用管理システムには、次に示す機能があります。

- Groupmaxサーバの起動及び停止
- Groupmaxサーバの機能ごとの起動及び停止
- Groupmaxサーバのインストール状況の表示
- Groupmaxサーバの稼働状態の表示及び監視
- Groupmaxサーバの機能ごとの稼働状態の表示及び監視
- Document ManagerとScheduler Serverの稼働情報の収集
- Mail - Administrator Utilitiesが収集したMail Serverの稼働情報の収集
- Address Server - Data Collectionが収集したAddress Server及びMail Serverの稼働情報の収集
- Object Serverのデータベースの再編成時期の警告
- Groupmaxサーバの障害情報の一括収集
- 複数のGroupmaxサーバの一括起動及び一括停止
- Groupmaxサーバの構成変更の通知
- Groupmaxサーバのバックアップスケジュールの機能
- ノード管理機能
- Groupmaxサーバの計画起動及び計画停止

System Manager - TCP/IPの機能については、マニュアル「Windows NT Groupmax System Manager - TCP/IP/System Agent - TCP/IP Version 5システム管理者ガイド」及びSystem Manager - TCP/IPのオンラインヘルプを参照してください。

1.2 システム構成

システム統合運用管理システムの構成と、システム構成時の注意事項について説明します。

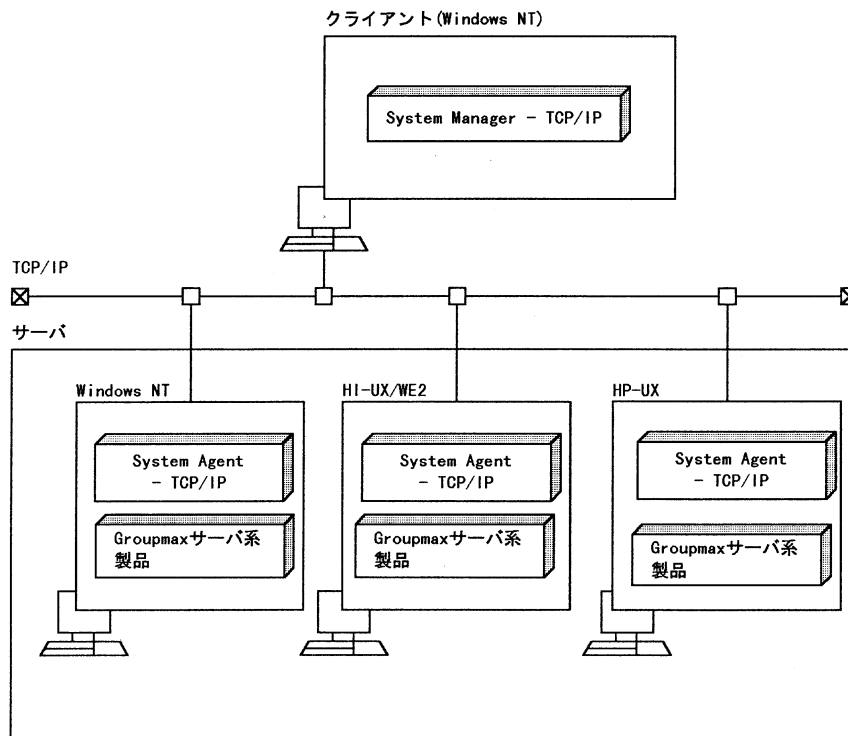
1.2.1 システム統合運用管理システムの構成

システム統合運用管理システムは、Windows NTのクライアント上で動作するSystem Manager - TCP/IPと、サーバ上で動作するSystem Agent - TCP/IP及びWindows NT System Agent - TCP/IPで構成されています。

System Manager - TCP/IPは、通信プロトコルとしてTCP/IPを使用して、System Agent - TCP/IP又はWindows NT System Agent - TCP/IPと通信します。

システム統合運用管理システムの構成図を図1-1に示します。

図1-1 システム統合運用管理システムの構成図



1.2.2 システム構成時の注意事項

システムを構成するときの注意事項について、次に示します。

(1) システム構成全体の注意事項

- 構成できるSystem Agent - TCP/IP
System Agent - TCP/IPは、System Agent及びSystem Agent - Extensionとは混在できません。

1. 概要

- System Manager - TCP/IPのバージョン
バージョン03-10以降のSystem Manager - TCP/IPを対象とします。
計画運用機能はバージョン05-00以降のSystem Manager - TCP/IPを対象とします。
- Groupmaxサーバのバージョン
バージョンが03-00以降のGroupmaxサーバを対象とします。ただし、Voice Mail - GatewayとForm Server - Processing Optionは02-32以降を対象とします。

(2) System Agent - TCP/IPの注意事項

System Agent - TCP/IPが一度に接続できるSystem Manager - TCP/IPの数には制限がありません。ただし、System Manager - TCP/IPを複数接続すると、処理速度が遅くなる場合があります。

1.3 System Agent – TCP/IPの概要

System Agent – TCP/IPは、Groupmaxサーバの状態を監視して、監視した結果をSystem Manager – TCP/IPに通知します。

System Agent – TCP/IPには、次の四つのデーモンがあります。

- 「Groupmax System Agent – TCP/IP」デーモン
- 「Groupmax System Agent – TCP/IP RAS」デーモン
- 「Groupmax System Agent – TCP/IP Admin」デーモン
- 「Groupmax System Agent – TCP/IP Bkup」デーモン

それぞれのデーモンについて、次に説明します。また、各デーモンが持っている機能についての詳細は、「1.4 System Agent – TCP/IPの機能」を参照してください。

(1) 「Groupmax System Agent – TCP/IP」デーモン

「Groupmax System Agent – TCP/IP」デーモンは、次に示す機能を支援しています。

- Groupmaxサーバの稼働状態の変化の通知※
- Groupmaxサーバのインストール状況の通知※
- Groupmaxサーバのバージョン情報の通知※
- Groupmaxサーバの稼働状態の通知※
- Groupmaxサーバの機能ごとの、稼働状態の通知※
- Object Serverのデータベースの、再編成時期の通知※
- Groupmaxサーバの構成変更の通知※
- Groupmaxサーバの起動又は停止
- Groupmaxサーバの機能ごとの、起動又は停止
- Groupmaxサーバの計画起動または計画停止

注※ これらの機能を総称して、状態監視機能といいます。

(2) 「Groupmax System Agent – TCP/IP RAS」デーモン

「Groupmax System Agent – TCP/IP RAS」デーモンは、障害情報の取得及び稼働情報の取得機能を支援しています。

(3) 「Groupmax System Agent – TCP/IP Admin」デーモン

「Groupmax System Agent – TCP/IP Admin」デーモンは、稼働情報管理機能を支援しています。

(4) 「Groupmax System Agent – TCP/IP Bkup」デーモン

「Groupmax System Agent – TCP/IP Bkup」デーモンは、バックアップスケジュール機能を支援しています。

1. 概要

1.4 System Agent – TCP/IPの機能

System Agent – TCP/IPの各デーモンが持つ、それぞれの機能について説明します。

1.4.1 「Groupmax System Agent – TCP/IP」デーモンの機能

(1) 稼働状態の変化の通知

(a) 稼働状態の監視間隔の設定

次に示す監視間隔をSystem Manager – TCP/IPから指定された値に変更します。

- Groupmaxサーバの稼働状態の監視間隔
- Groupmaxサーバの機能ごとの稼働状態の監視間隔
- Object Serverのデータベースの状態の監視間隔
- Object Serverのデータベースのインデクスエリアのしきい値超過及び解除の監視間隔

(b) 稼働状態の変化の通知

設定した監視間隔で、Groupmaxサーバごとの稼働状態、及び機能ごとの稼働状態、又はObject Serverのデータベースの状態に変化があった場合、System Manager – TCP/IPへ状態の変化を通知します。

Object Serverのデータベースの状態については、次の場合にSystem Manager – TCP/IPへ通知します。

- 設定されている使用率のしきい値を超えた場合
- しきい値を超えた状態から正常に戻った場合
- OIDインデクスエリアに増分が発生した場合
- データベースの再編成によって、データベースが正常な状態になった場合

(2) インストール状況の通知

インストールされている、管理対象のGroupmaxサーバの名称を、System Manager – TCP/IPに通知します。

(3) バージョン情報の通知

Groupmaxサーバのバージョン情報を、インストール状況の通知とともにSystem Manager – TCP/IPに通知します。

(4) 稼働状態の通知

System Manager – TCP/IPからの要求によって、各Groupmaxサーバの稼働状態を、System Manager – TCP/IPに通知します。通知する状態は次の9種類です。

- インストールされていない
- 停止中（イニシャライズ未完了）
- 停止中（イニシャライズ完了済）
- 稼働中
- 一部機能稼働中
- 組込み済み（イニシャライズ未完了）
- 組込み済み（イニシャライズ完了済）
- 当該サーバでは本機能はサポートされていない
- 状態取得に失敗した

(5) 機能ごとの稼働状態の通知

System Manager – TCP/IPからの要求によって、各Groupmaxサーバの機能ごとの稼働状態を、System Manager – TCP/IPに通知します。通知する状態は次の6種類です。

- インストールされていない

1. 概要

- 停止中（イニシャライズ未完了）
- 停止中（イニシャライズ完了済）
- 稼働中
- 当該サーバでは本機能はサポートされていない
- 状態取得に失敗した

(6) データベースの再編成時期の通知

Object Serverのデータベースの増分契機通知を一定間隔で監視して、次のようにSystem Manager - TCP/IPに通知します。

- データベースのインデクスエリアの増加が発生した場合
インデクスエリアの増加を通知します。
- データベースのインデクスエリアの再編成が実行済みの場合
インデクスエリア再編成を通知します。

Object Serverについては、マニュアル「Groupmax Object Server Version 5 システム管理者ガイド」を参照してください。

(7) Groupmaxサーバの構成変更の通知

この機能は、使用しているOSがHP-UXの場合だけに適用します。

Groupmaxサーバを構成変更（インストール、アンインストール、又はバージョンアップ）した場合、System Agent - TCP/IPを再起動することによって、Groupmaxサーバの構成変更をSystem Manager - TCP/IPに通知します。

Groupmaxサーバの構成変更の手順

自動的にGroupmaxサーバの構成変更を通知するには、次の手順で設定してください。

1. System Agent - TCP/IPを停止する

リモートで停止する場合には、System Manager - TCP/IP上でSystem Agent - TCP/IPを停止してください。ローカルで停止する場合には、sysagtコマンドを実行して、停止してください。sysagtコマンドについては、「4.3 運用コマンドの文法」を参照してください。

すべてのSystem Manager - TCP/IPに、「System Agent停止」と通知されます。

2. Groupmaxサーバの構成変更をする

3. 構成変更が終わった後、System Agent - TCP/IPを起動する

リモートで起動する場合には、System Manager - TCP/IP上でSystem Agent - TCP/IPを起動してください。ローカルで起動する場合には、sysagtコマンドを実行して、起動してください。すべてのSystem Manager - TCP/IPに「System Agent起動」と「PP構成変化」が通知されます。

(8) Groupmaxサーバの起動又は停止

System Manager - TCP/IPからの要求によって、各Groupmaxサーバを起動又は停止します。

注意事項

環境設定コマンドsysasetでcluster(Fail-over ON/OFF).をONにした場合は、この機能を使用できません。

(9) Groupmaxサーバの機能ごとの起動又は停止

System Manager - TCP/IPからの要求によって、各Groupmaxサーバの機能を起動又は停止します。

注意事項

環境設定コマンドsysasetでcluster(Fail-over ON/OFF).をONにした場合は、この機能を使用できません。

(10) Groupmaxサーバの計画起動又は計画停止

System Manager - TCP/IPからの通知によって作成した、Groupmaxサーバの起動又は停止日時のスケジュールに従って、Groupmaxサーバを起動させたり停止させたりします。

1. 概要

注意事項

環境設定コマンドsysasetでcluster(Fail-over ON/OFF).をONにした場合は、この機能を使用できません。

1.4.2 「Groupmax System Agent – TCP/IP RAS」デーモン

(1) 障害情報の取得

System Manager – TCP/IPからの要求によって、各Groupmaxサーバの障害情報をSystem Manager – TCP/IPに転送します。

(2) 稼働情報の取得

System Manager – TCP/IPからの要求によって、Document Manager, Scheduler Serverの稼働情報、及びMail – Administrator UtilitiesまたはAddress Server – Data Collectionが収集したメールの稼働情報をSystem Manager – TCP/IPに転送します。

1.4.3 「Groupmax System Agent – TCP/IP Admin」デーモン

(1) 稼働情報管理機能

Document Manager, Scheduler Serverの稼働情報を収集し、一元的に管理するための機能です。

1.4.4 「Groupmax System Agent – TCP/IP Bkup」デーモン

(1) バックアップスケジュール機能

利用者が作成したコマンドやバッチスクリプト（バッチコマンドの記述文です。各Groupmaxサーバのデータベースなどのバックアップを主な目的としたものです）を、System Manager – TCP/IP上からスケジューリングし、実行します。更に、System Manager – TCP/IP上からは実行結果の確認もできます。この機能によって、一つのSystem Manager – TCP/IPのノード上から、複数のSystem Agent – TCP/IPのノード上の、Groupmaxサーバ系製品のデータベースなどのバックアップを支援します。

(a) スケジューリング機能

System Agent – TCP/IPは、利用者がSystem Manager – TCP/IP上で設定したバッチスクリプトのスケジュールに従って、各バッチスクリプトをスケジューリングします。

現在のスケジューリング状況はSystem Manager – TCP/IP上で確認できます。また、スケジュールの追加、削除、及び変更をSystem Manager – TCP/IP上で操作できます。変更内容はSystem Agent – TCP/IPにすぐに反映されます。

スケジューリングできるバッチスクリプトの数は、最大40です。

(b) バッチスクリプトの実行

System Agent – TCP/IPは、スケジューリング機能によって、スケジュール時間が来ると、指定されたバッチスクリプトを実行したり、終了監視したりします。バッチスクリプトの実行結果は、System Manager – TCP/IP上で確認できます。

2. 環境設定

この章では、System Agent - TCP/IPを操作する前に必要な、インストール及び環境設定について説明します。

- 2.1 インストールする前に
- 2.2 インストールとアンインストール
- 2.3 環境設定

2. 環境設定

2.1 インストールする前に

System Agent - TCP/IPをインストールする前に、必要な作業について説明します。

- System Agent又はSystem Agent - Extensionのアンインストール
System Agent - TCP/IPは、System Agent又はSystem Agent - Extensionがインストールされているマシンに、インストールできません。System Agent - TCP/IPをインストールする前に、必ずSystem Agent又はSystem Agent - Extensionをアンインストールしてください。

- 空きディスク容量の確認
System Agent - TCP/IPをインストールするには、約1.5メガバイトのディスク容量が必要です。bdfコマンドを使って空きディスク容量を確認してください。

(例)

```
Filesystem      kbytes  used  avail  capacity  Mounted on
/dev/dsk/hds000  xxxx   xxxx  xxxx   xxxx      xxxxxx
availの部分に表示されるのが、空きディスク容量です。
```

2.2 インストールとアンインストール

System Agent - TCP/IPのインストール及びアンインストールについて説明します。使用しているOSによって操作方法が異なるため、HI-UX/WE2の場合とHP-UXの場合に分けて説明しています。

補足

アンインストールしないでバージョンアップした場合、ユーザ設定情報は引き継がれます。

2.2.1 インストール

(1) HI-UX/WE2の場合

OSの標準組み込み機能によってインストールします。OSの標準組み込み機能については、マニュアル「HI-UX/WE2 システム管理 導入・保守編」を参照してください。インストール先ディレクトリは「/usr/GsAgt」及び「/usr/Gmsysagt」です。

(2) HP-UXの場合

次の手順でインストールしてください。インストール先ディレクトリは「/opt/GsAgt」及び「/opt/Gmsysagt」です。

1. suコマンドを入力する
スーパーユーザになります。
System Agent - TCP/IPを初めてインストールする場合は、操作4へ進んでください。
2. 既にSystem Agent - TCP/IPがインストールされているマシンへ再インストールする場合、コマンド「/opt/GsAgt/tool/sysactl△status△all」を実行して、System Agent - TCP/IPのすべてのデーモンが停止していることを確認する
すべてのデーモンが停止している場合は、操作4へ進んでください。停止していない場合は、操作3へ進んでください。
3. コマンド「/opt/GsAgt/tool/sysactl△stop△all」を実行する
すべてのデーモンが停止します。
4. 提供媒体がDATの場合はDATテープ駆動装置に、CD-ROMの場合はCD-ROMドライブに提供媒体を装着する
5. コマンド「/etc/hitachi_setup△-i△/dev/rmt/0mnb」を実行する
下線部には、DATのデバイスファイル名またはCD-ROMディレクトリ名を指定してください。
Hitachi PP Installerが起動し、初期画面が表示されます。
6. 「I」(Install Software)を入力する
インストールプログラムプロダクト一覧が表示されます。
7. スペースキーで「Groupmax System Agent - TCP/IP」を選択する
「Groupmax System Agent - TCP/IP」の文字が反転表示されます。
8. 「I」(Install)を入力する
インストールが開始されます。インストールが完了すると、初期画面に戻ります。
9. 初期画面で「Q」(Quit)を入力する
Hitachi PP Installerが終了します。

2.2.2 アンインストール

次の手順でアンインストールしてください。なお、アンインストールした場合、インストールで組み込んだファイル及び環境設定の定義内容はすべて削除されます。バージョンアップする場合、System Agent - TCP/IPを削除する必要はありません。

2. 環境設定

(1) HI-UX/WE2の場合

OSの標準削除機能によってアンインストールします。OSの標準削除機能については、マニュアル「HI-UX/WE2 システム管理 導入・保守編」を参照してください。削除されるディレクトリとファイルは「/usr/GsAgt」及び「/usr/Gmsysagt」以下の全ディレクトリと全ファイルです。

(2) HP-UXの場合

1. suコマンドを入力する
スーパーユーザになります。
2. コマンド「/opt/GsAgt/tool/sysactl△status△all」を実行して、System Agent - TCP/IPのすべてのデーモンが停止していることを確認する
すべてのデーモンが停止している場合は、操作4へ進んでください。停止していない場合は、操作3へ進んでください。
3. デーモンが実行中の場合は、コマンド「/opt/GsAgt/tool/sysactl△stop△all」を実行する
すべてのデーモンが停止します。
4. コマンド「/etc/hitachi_setup」を実行する
Hitachi PP Installerが起動され、初期画面が表示されます。
5. 「D」(Delete Software)を入力する
アンインストールできるプログラムプロダクトの一覧が表示されます。
6. スペースキーで「Groupmax System Agent - TCP/IP」を選択する
「Groupmax System Agent - TCP/IP」の文字が反転表示されます。
7. 「D」(Delete)を入力する
アンインストールが開始されます。アンインストールが完了すると、初期画面に戻ります。
8. 初期画面で「Q」(Quit)を入力する
Hitachi PP Installerが終了します。

2.3 環境設定

システム統合運用管理システムとして、System Agent - TCP/IPを利用するには、次の手順で環境設定をしてください。

1. servicesファイルの設定
2. 自動起動の設定

使用しているOSによって操作方法が異なる場合、HI-UX/WE2の場合とHP-UXの場合に分けて説明します。

2.3.1 servicesファイルの設定

System Agent - TCP/IPがインストールされているマシンの、servicesファイルに、使用するデーモン名とポート番号を設定します。設定するには、sysasetコマンドを実行してください。sysasetコマンドについては、「4.3 運用コマンドの文法」を参照してください。

次の手順で設定します。

1. コマンドプロンプト上で、カレントディレクトリをHI-UX/WE2の場合は「/usr/GsAgt/tool」ディレクトリ、HP-UXの場合は「/opt/GsAgt/tool」ディレクトリに移動する
2. sysasetコマンドを実行する

Setup End(Save succeeded)以外のメッセージが表示された場合は、何らかの原因で失敗している可能性があります。この場合は、servicesファイルの、次に示す項目を手動で設定してください。

- sysasetコマンドが追加するデーモン名とポート番号


```
smadmutil 20042/tcp
smgetras 20043/tcp
smbkupsche 20074/tcp
sysmngagt 20113/tcp
```

注意事項

- ポート番号を設定するとき、System Manager - TCP/IPノード上のservicesファイル内で設定されているポート番号と一致している必要があります。ポート番号は、ほかのポート番号と異なるポート番号を使用してください。
- sysasetコマンドを実行するには、利用者はスーパーユーザの権限を持っていない限りなりません。
- 「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンが停止していない場合は環境設定を変更できません。
- sysasetコマンドではservicesファイルの設定以外に計画運用実行間隔や計画運用最大設定数、HP-UXのMC/ServiceGuard連携時に必要な情報も設定します。

2.3.2 自動起動の設定

System Agent - TCP/IPの各デーモンを、システム起動時に自動的に起動するかどうかを設定します。設定するには、sysaautoコマンドを実行してください。sysaautoコマンドについては、「4.3 運用コマンドの文法」を参照してください。

注意事項

sysaautoコマンドを実行するには、利用者はスーパーユーザの権限を持っていない限りなりません。

(1) HI-UX/WE2の場合

次の手順で設定します。

1. コマンドプロンプト上で、カレントディレクトリを「/usr/GsAgt/tool」ディレクトリに移動する

2. 環境設定

2. sysaautoコマンドを実行する

自動起動を設定する場合： sysaauto△on△ (デーモン名)

自動起動を解除する場合 (手動)： sysaauto△off△ (デーモン名)

(デーモン名) の設定方法については、「4.3 運用コマンドの文法」を参照してください。

(2) HP-UXの場合

次の手順で設定します。

1. コマンドプロンプト上で、カレントディレクトリを「/opt/GsAgt/tool」ディレクトリに移動する

2. sysaautoコマンドを実行する

自動起動を設定する場合： sysaauto△on△ (デーモン名)

自動起動を解除する場合 (手動)： sysaauto△off△ (デーモン名)

(デーモン名) の設定方法については、「4.3 運用コマンドの文法」を参照してください。

3. ファイル名を「/sbin/init.d/GsAgt_start」とし、起動スクリプトを作成する

次に示すファイルを作成してください。起動スクリプトとは、システムが起動される時に自動的に起動されるコマンドのことです。このファイルは、利用者が作成する必要があります。

```
#!/sbin/sh
PATH=/sbin:/usr/sbin:/usr/bin
export PATH

rval=0
set_return() {
    x=$?
    if [ $x -ne 0 ] ; then
        echo "ERRCODE $x"
        rval=1
    fi
}

case $1 in
start_msg)
    echo "Hitachi PP Server process start"
    ;;
start)
    if [ -x /opt/GsAgt/bin/GSAGT.rc ] ; then
        /opt/GsAgt/bin/GSAGT.rc
    fi
    ;;
*)
    echo "usage:$0[start]"
    ;;
esac

exit $rval
```

4. chmodを実行し、作成した起動スクリプトに、実行権限を与える

5. 起動スクリプトを登録する

作成した起動スクリプトを登録します。登録方法は、シンボリックリンクで、スタートアップ・シーケンサー・ディレクトリにリンクをはります。

次に、登録例を示します。

(例)

```
ln△-s△/sbin/init.d/GsAgt_start△/sbin/rcN.d/S951GsAgt_start
```

注意事項

- rcN.dのNは、ファイル「/etc/inittab」のinitdefaultエントリのrstateの番号以下にしてください。ただし、rcN.dは、システム起動時に必ず実行されなければなりません。
- S951GsAgt_startは、起動スクリプトファイル名です。これは変更できますが、変更する場合は、OSの起動スクリプトファイル名の名称規則に従ってください。

3. 起動と停止

この章では、System Agent - TCP/IPの起動と停止について説明します。

3.1 起動

3.2 停止

3. 起動と停止

3.1 起動

System Agent - TCP/IPの起動方法について説明します。System Agent - TCP/IPは、各デーモンごとに起動します。各デーモンについては、「1.3 System Agent - TCP/IPの概要」を参照してください。

起動方法は、「手動」と「自動」とでは異なります。自動起動の設定については、「2.3.2 自動起動の設定」を参照してください。

3.1.1 起動方法が「手動」の場合

サーバマシンで、次の手順で操作してください。

1. スーパーユーザでログインする
2. カレントディレクトリを、HI-UX/WE2の場合は「/usr/GsAgt/tool」ディレクトリに、HP-UXの場合は「/opt/GsAgt/tool」ディレクトリに移動する
3. コマンド「sysactl△start△（デーモン名）」を実行し、用途に応じて各デーモンを起動する
指定したデーモンが起動されます。
（デーモン名）の指定やsysactlコマンドについては、「4.3 運用コマンドの文法」を参照してください。

3.1.2 起動方法が「自動」の場合

システムが起動すると、自動的にSystem Agent - TCP/IPのデーモンも起動します。

起動されるデーモンは、sysaautoコマンドで指定したデーモンです。sysaautoコマンドについては、「4.3 運用コマンドの文法」を参照してください。

3.2 停止

System Agent - TCP/IPの停止方法について説明します。サーバマシンで、次の手順で操作してください。

1. スーパーユーザでログインする
2. カレントディレクトリを、HI-UX/WE2の場合は「/usr/GsAgt/tool」ディレクトリに、HP-UXの場合は「/opt/GsAgt/tool」ディレクトリに移動する
3. コマンド「`sysactl stop Δ (デーモン名)`」を実行し、用途に応じて各デーモンを停止する
指定したデーモンが停止します。
(デーモン名)の指定や`sysactl`コマンドについては、「4.3 運用コマンドの文法」を参照してください。

4. 運用コマンド

この章では、System Agent - TCP/IPの運用コマンドの文法について説明します。

- 4.1 運用コマンド一覧
- 4.2 運用コマンドの指定方法
- 4.3 運用コマンドの文法

4. 運用コマンド

4.1 運用コマンド一覧

System Agent - TCP/IPの運用コマンドの一覧を、表4-1に示します。

表4-1 System Agent - TCP/IPの運用コマンド一覧

| コマンド名称 | 機能 |
|----------|---|
| sysaauto | 各デーモンを自動起動するか、手動起動するかを設定。 |
| sysactl | 各デーモンの起動、停止、又は状態確認。 |
| sysagt | 「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンの状態監視機能の起動又は停止。 |
| sysaset | servicesファイルでの、サービス名とポート番号の設定。 |

4.2 運用コマンドの指定方法

System Agent - TCP/IPの運用コマンドの記述形式を次に示します。

コマンド 引数 引数 ...

コマンド及び引数は、UNIXの標準形式に合わせて、すべて半角の英数字で記述します。大文字と小文字は区別されます。

コマンドの形式を説明するための記号の意味を次に示します。

- []
この記号で囲った引数を省略できることを示します。
- { | }
この記号で囲った引数のうち、必ず一つを選択して指定することを示します。
- [|]
この記号で囲った引数のうち、どれかを選択するか、又は引数の選択を省略できることを示します。

4. 運用コマンド

4.3 運用コマンドの文法

System Agent - TCP/IPのコマンドの文法を、アルファベット順に説明します。

sysaauto

形 式

- HI-UX/WE2の場合
/usr/GsAgt/tool/sysaauto△{on|off|status}△{all|agent|smras|smadmin|backup}
- HP-UXの場合
/opt/GsAgt/tool/sysaauto△{on|off|status}△{all|agent|smras|smadmin|backup}

機 能

各デーモンの起動方法を、手動又は自動に設定します。また、手動か自動かを確認することもできます。

引 数

{on|off|status}

- on : 自動起動に設定します。
- off : 手動起動に設定します。
- status : 現在の設定状況を表示します。

{all|agent|smras|smadmin|backup}

- all
すべてのデーモンに設定をします。
- agent
「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンにだけ設定をします。
- smras
「Groupmax System Agent - TCP/IP RAS」デーモンにだけ設定をします。
- sadmin
「Groupmax System Agent - TCP/IP Admin」デーモンにだけ設定をします。
- backup
「Groupmax System Agent - TCP/IP Bkup」デーモンにだけ設定をします。

実行結果

- usage:sysaauto {on|off|status} {all|agent|smras|smadmin|backup}
引数指定が正しくありません。
- Auto Setup xx Succeeded (設定状況)
自動起動の設定に成功しました。
- Auto Setup xx Failed (エラー詳細メッセージ)
自動起動の設定に失敗しました。
- Auto Setup xx Status (設定状況)
自動起動の設定状況を表示します。

(凡例)

xx : 各デーモンの名称

注意事項

- このコマンドを使用する前に、カレントディレクトリを「<インストールディレクトリ>/tool」に移動してください。
- HP-UXの場合、自動起動を有効とするには、起動スクリプトの作成と登録も必要です。起動スクリプトの作成と登録については、「2.3.2自動起動の設定」を参照してください。
- 上記の実行結果以外のメッセージが表示された場合の対処については、「付録B 運用コマンド実行時のメッセージ」を参照してください。

sysactl

形式

- HI-UX/WE2の場合
/usr/GsAgt/tool/sysactl {start|stop|status} {all|agent|smras|smadmin|backup}
- HP-UXの場合
/opt/GsAgt/tool/sysactl {start|stop|status} {all|agent|smras|smadmin|backup}

機能

各デーモンを起動又は停止します。また、起動状態か停止状態かを確認することもできます。

引数

{start|stop|status}

- start : 各デーモンを起動します。
- stop : 各デーモンを停止します。
- status : 現在の状態を表示します。

{all|agent|smras|smadmin|backup}

- all
すべてのデーモンを対象とします。
- agent
「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンだけを対象とします。
- smras
「Groupmax System Agent - TCP/IP RAS」デーモンだけを対象とします。
- smadmin
「Groupmax System Agent - TCP/IP Admin」デーモンだけを対象とします。
- backup
「Groupmax System Agent - TCP/IP Bkup」デーモンだけを対象とします。

実行結果

- usage:sysactl {start|stop|status} {all|agent|smras|smadmin|backup}
引数指定が正しくありません。
- xx Daemon Start Succeeded
xxデーモンの起動に成功しました。
- xx Daemon Stop Succeeded
xxデーモンの停止に成功しました。
- xx Daemon Start Failed (詳細メッセージ)
xxデーモンの起動に失敗しました。
- xx Daemon Stop Failed (詳細メッセージ)
xxデーモンの停止に失敗しました。

4. 運用コマンド

- **xx Daemon Status(running or stopped)**
xxデーモンの状態を表示します。

(凡例)

xx : 各デーモンの名称

注意事項

- このコマンドを使用する前に、カレントディレクトリを「<インストールディレクトリ>/tool」に移動してください。
- 各デーモンを停止すると、接続中のSystem Manager - TCP/IPの接続はすべて解除されます。
- 上記の実行結果以外のメッセージが表示された場合の対処については、「付録B 運用コマンド実行時のメッセージ」を参照してください。

sysagt

形式

- HI-UX/WE2の場合
/usr/GsAgt/tool/sysagt△{start|stop}
- HP-UXの場合
/opt/GsAgt/tool/sysagt△{start|stop}

機能

Groupmaxサーバの構成変更をするときに、ローカルノードで「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンの状態監視機能を起動又は停止します。Groupmaxサーバの構成変更をした後、「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンの状態監視機能を再起動すると、構成変更の情報がSystem Manager - TCP/IPに通知されます。また、「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンの状態監視機能を停止したときに、System Manager - TCP/IP上で行える操作は、System Agent - TCP/IPの「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンの状態監視機能の起動だけです。

引数

{start|stop}

start : 「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンの状態監視機能を起動します。
stop : 「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンの状態監視機能を停止します。
引数を省略した場合、コマンドの使用方法を出力します。

実行結果

- usage:sysagt {start|stop}
パラメタを指定しませんでした。
- System Agent - TCP/IP Start Succeeded
起動に成功しました。
- System Agent - TCP/IP Stop Succeeded
停止に成功しました。
- System Agent - TCP/IP Start Failed (Already Started)
起動状態で、startを指定しました。
- System Agent - TCP/IP Stop Failed (Already Stopped)
停止状態で、stopを指定しました。

4. 運用コマンド

注意事項

- このコマンドを使用する前に、カレントディレクトリを「<インストールディレクトリ>/tool」に移動してください。
- 上記の実行結果以外のメッセージが表示された場合の対処については、「付録B 運用コマンド実行時のメッセージ」を参照してください。
- sysagtコマンドは、Groupmaxサーバの構成変更の目的以外に使用しないでください。
- sysagtコマンドは、使用しているOSがHP-UXの場合だけ有効です（HP-UXは、システムをリブートしなくても構成変更ができますが、HI-UX/WE2ではシステムをリブートしないと構成変更ができないため）。
- 「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンの状態監視機能の起動及び停止は、System Manager - TCP/IP上でもできます。
- sysagtコマンドは、「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンが停止している場合は実行できません。

sysaset

形式

- HI-UX/WE2の場合
/usr/GsAgt/tool/sysaset
- HP-UXの場合
/opt/GsAgt/tool/sysaset

機能

- 初期設定時に、System Agent - TCP/IPがSystem Manager - TCP/IPとの通信で使用するサービス名とポート番号を、servicesファイルに設定します。
- メニュー形式で以下の項目を設定します。
計画運用実行間隔を10分～1440分の範囲で設定します。
計画運用最大設定数を1～100の範囲で設定します。
HP-UXでMC/ServiceGuard連携を行う場合にパッケージIPアドレスに対応したホスト名(以降仮想ホスト名と表記します)を設定します。

引数

なし。

実行結果

- Setup End(Save succeeded)
環境設定は正常に終了しました。
- Setup End(xx Services Added)
xxサービスの設定が終了しました（このメッセージは、一部設定が失敗したときだけ表示されません）。
- Setup End(xx Services Already Added by Other Port yy)
xxサービスは推奨ポート番号でないyyで、既に設定されています。
- Setup Failed(xx Services Not Added, Port yy Already Used)
xxサービスは未設定です。推奨ポート番号yyは既に設定されています。
- Setup Failed(詳細メッセージ)
サービスの設定に失敗しました。

(凡例)

xx : サービスの名称

4. 運用コマンド

yy : ポート番号

注意事項

- このコマンドを使用する前に、カレントディレクトリを「<インストールディレクトリ>/tool」に移動してください。
- 推奨ポート番号が使用されている場合は、ポート番号は設定されません。
- 設定に失敗した場合は、その時点でservicesファイルを設定前の状態に戻します。
- 上記の実行結果以外のメッセージが表示された場合の対処については、「付録B 運用コマンド実行時のメッセージ」を参照してください。
- Setup End (Save succeeded) 以外はメッセージが複数行出力されます。
- servicesファイルに追加される項目は以下の通りです。
smadmutil 20042/tcp
smgetras 20043/tcp
smbkupsche 20074/tcp
sysmngagt 20113/tcp
- 「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンが動作中は環境設定はできません。
この場合以下の警告メッセージを出力します。

```
WARNING:Agent daemon is not stopped.  
        You can only select 1 or 9.  
Hit any key>
```

エンターキー押下で表示されるメニューは以下のようになり、現在の設定内容の参照だけができます。

```
Groupmax System Agent - TCP/IP environment setup.  
Please select number.  
  1. Show environment setting information's.  
  9. Exit(no save).  
  
Select menu number>
```

環境設定を行う場合はsysactlコマンドを使用して「Groupmax System Agent - TCP/IP」デーモンを停止してください。

環境設定メニュー

sysasetを起動すると以下のメニューが表示されます。計画運用実行間隔、計画運用最大設定数、HP-UXでMC/ServiceGuard連携の設定はメニュー番号選択で設定していきます。

```
Groupmax System Agent - TCP/IP environment setup.  
Please select number.  
  1. Show environment setting information's.  
  2. Setup interval time of execute for schedule.  
  3. Setup maximum number of specify for schedule.  
  4. Setup cluster.  
  5. Exit(save).  
  9. Exit(no save).  
  
Select menu number>
```

選択番号とそれぞれの機能は以下のとおりです。

1. 現在の設定内容を表示します。
2. 計画運用実行間隔を設定します。
3. 計画運用最大設定数を設定します。

4. 運用コマンド

4. HP-UXでMC/ServiceGuard連携を行う場合の設定をします。
5. 項番2から4で設定した内容で環境設定ファイルを更新して終了します。
9. 項番2から4で設定した内容を環境設定ファイルに反映せずに終了します。

それぞれのメニューでsysasetが出力するプロンプトメッセージと有効な応答はそれぞれ以下のとおりです。

Select menu number> 表示されているメニュー番号を選択してください。
Hit any key> エンターキーでメニューに戻ります。
GsAgt> 指示された範囲の半角文字を入力してください。

環境設定例を以下に示します。

(1)sysasetを起動しメニュー番号1を選択。現在の設定内容を確認する。

```
Groupmax System Agent - TCP/IP environment setup.  
Please select number.  
1. Show environment setting information's.  
2. Setup interval time of execute for schedule.  
3. Setup maximum number of specify for schedule.  
4. Setup cluster.  
5. Exit(save).  
9. Exit(no save).  
  
Select menu number>1  
  
Environment setting information's.  
interval time of execute for schedule.      30 minute  
maximum number of specify for schedule.    40  
cluster(Fail-over ON/OFF).                 OFF
```

Hit any key>

(2)メニュー番号2を選択し、計画運用実行間隔を設定する。

```
Groupmax System Agent - TCP/IP environment setup.  
Please select number.  
1. Show environment setting information's.  
2. Setup interval time of execute for schedule.  
3. Setup maximum number of specify for schedule.  
4. Setup cluster.  
5. Exit(save).  
9. Exit(no save).  
  
Select menu number>2  
  
Please specify interval time of execute for schedule.  
(10 to 1440:current value[30]minute)  
  
GsAgt>30
```

(3)メニュー番号3を選択し、計画運用最大設定数を設定する。

```
Groupmax System Agent - TCP/IP environment setup.  
Please select number.  
1. Show environment setting information's.  
2. Setup interval time of execute for schedule.  
3. Setup maximum number of specify for schedule.  
4. Setup cluster.
```

4. 運用コマンド

- 5. Exit(save).
- 9. Exit(no save).

Select menu number>3

Please specify maximum number of specify for schedule.
(0 to 100:current value[40])

GsAgt>40

(4)HP-UXでMC/ServiceGuard上での使用時。仮想ホスト名がh9000で登録されている場合の例。

Groupmax System Agent - TCP/IP environment setup.
Please select number.

- 1. Show environment setting information's.
- 2. Setup interval time of execute for schedule.
- 3. Setup maximum number of specify for schedule.
- 4. Setup cluster.
- 5. Exit(save).
- 9. Exit(no save).

Select menu number>4

Please specify Fail-over with cluster.(y/n)
(OFF)
"y" is Fail-over ON.
"n" is Fail-over OFF.

GsAgt>y

Please specify cluster-hostname.

GsAgt>h9000

(5)sysasetコマンドで設定した情報を登録して終了する。

Groupmax System Agent - TCP/IP environment setup.
Please select number.

- 1. Show environment setting information's.
- 2. Setup interval time of execute for schedule.
- 3. Setup maximum number of specify for schedule.
- 4. Setup cluster.
- 5. Exit(save).
- 9. Exit(no save).

Select menu number>5

Environment setting information's.
interval time of execute for schedule. 30 minute
maximum number of specify for schedule. 40
cluster(Fail-over ON/OFF). OFF

Setup End (Save succeeded)

付 録

付録A デーモン実行時のメッセージ

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

付録A デーモン実行時のメッセージ

ここでは、System Agent - TCP/IPで表示されるメッセージについて説明します。

補足：対処が「System Agent - TCP/IPの障害取得を行う」の場合

通常は、System Manager - TCP/IP上で障害情報を取得してください。

ただし、デーモンドアウン、通信障害などでSystem Manager - TCP/IP上での障害情報を取得できない場合は、System Agent - TCP/IP上で、次の操作をしてください。

HI-UX/WE2の場合

1. スーパーユーザでログインする
2. コマンド「/usr/GsAgt/bin/GMSMRS」を実行する
3. コマンド「cd /usr/GsAgt」を実行する
4. コマンド「tar cvf RAS.tar 5H7A* ras/5H7A*」を実行する
「RAS.tar」ファイルと「/usr/adm/syslogfile」ファイルを保守員に渡してください。

HP-UXの場合

1. スーパーユーザでログインする
2. コマンド「/opt/GsAgt/bin/GMSMRS」を実行する
3. コマンド「cd /opt/GsAgt」を実行する
4. コマンド「tar cvf RAS.tar 9A49* ras/9A49*」を実行する
「RAS.tar」ファイルと「/var/adm/syslog/syslog.log」ファイルを保守員に渡してください。

付録A.1 メッセージの出力先

● HI-UX/WE2の場合

メッセージは、コンソール又は「/usr/adm/syslogfile」ファイルに格納されます。

● HP-UXの場合

メッセージは、「/var/adm/syslog/syslog.log」ファイルに格納されます。

付録A.2 メッセージの形式

メッセージの形式を次に示します。

KDGNnnn-Y メッセージテキスト

nnn

メッセージの番号です。3けたの固有の番号が表示されます。

Y

メッセージの種類を表します。

E：エラーメッセージです。障害が発生したので、処理を中断します。

W：警告メッセージです。異常が発生しましたが、処理は続行します。

I：システムの動作を通知するメッセージです。

付録A.3 メッセージ一覧

KDGN001-E(nn) xxxxx (semget関数のエラーメッセージ)

内容

システム全体で許可されるセマフォ識別子の上限数が、システムで決められた制限数を超えているため、セマフォ識別子を生成できない。

nn：エラー番号

対処

付録A デーモン実行時のメッセージ

システムのカーネルパラメタを調整してから、再起動してください。

KDGN002-E recv xxx gsamaind abnormal end

内容

「Groupmax System Agent-TCP/IP」デーモン起動中に異常シグナルを受信した。強制終了する。

xxx : 「SIGSEGV」, 「SIGBUS」又は「SIGNAL(sig no.)」

対処

System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

KDGN003-E semnum=mm SETVAL (nn) xxxxx (semctl関数のエラーメッセージ)

内容

セマフォ値の初期設定でエラーが発生した。

mm : セマフォ値

nn : エラー番号

対処

再起動してください。再起動してもエラーが発生する場合はSystem Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

KDGN004-E lock(ff, sem_num=mm) (nn) xxxxx (semopt関数のエラーメッセージ)

内容

セマフォ操作でエラーが発生した。

ff : 「ON」又は「OFF」

mm : セマフォ値

nn : エラー番号

対処

再起動してください。再起動してもエラーが発生する場合はSystem Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

KDGN005-E (nn) xxxxx (semget関数のエラーメッセージ)

内容

システム全体で許可されるセマフォ識別子の上限数が、システムで決められた制限数を超過しているため、セマフォ識別子を生成できない。

nn : エラー番号

対処

システムのカーネルパラメタを調整してから、再起動してください。

KDGN006-I Gmax System Agent - TCP/IP Service Start.

内容

「Groupmax System Agent-TCP/IP」デーモンの開始を通知した。

通信できる状態になる。

対処

—

KDGN007-I Gmax System Agent - TCP/IP Service Normal End.

内容

正常終了した。「Groupmax System Agent-TCP/IP」デーモンの終了を通知した。

対処

—

付録A デーモン実行時のメッセージ

KDGN008-W Gmax System Agent - TCP/IP Service Abnormal End.

内容

「Groupmax System Agent-TCP/IP」デーモン終了時に、セマフォ操作を失敗したため、異常終了した。

対処

—

KDGN009-E FAILED to send SERVICE_RUNNING for init error

内容

「Groupmax System Agent-TCP/IP」デーモン起動時、排他制御の初期化でエラー終了した (semget関数のエラー、又はsemopt関数のエラーが発生した)。

対処

- semget関数のエラーの場合
システムのカーネルパラメタを調整してから、再起動してください。
- semopt関数のエラーの場合
再起動してください。再起動してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

KDGN010-E FAILED to send SERVICE_RUNNING for gsaobsvd trouble or schedule data broken

内容

「Groupmax System Agent-TCP/IP」デーモン起動時、状態監視機能の起動に失敗又は計画運用機能で使用する内部ファイル参照失敗のためエラー終了した。

対処

再起動してください。再起動してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから保守員に連絡してください。

KDGN011-E FAILED to send SERVICE_RUNNING for daemon create error

内容

「Groupmax System Agent-TCP/IP」デーモン起動時、デーモンプロセス作成に失敗し、エラー終了した。プロセスを作成するためのスワッピング領域や物理メモリが十分でない。又は、実行中のプロセスの合計が、システムで決められている制限を超えている。

対処

上記の障害の要因を取り除き、再度起動してください。

KDGN012-E FAILED to send SERVICE_RUNNING for semaphore error

内容

「Groupmax System Agent-TCP/IP」デーモン起動時、セマフォ操作でエラー終了した。

対処

再起動してください。再起動してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

KDGN013-E xxx signal catch (signal:nn)

内容

System Agent-TCP/IPの運用コマンドを実行中に、異常シグナルを受信し、強制終了する。

xxx : 「sysactl」 「sysagt」 「sysaauto」又は「sysaset」のどれか

nn : シグナル番号

対処

System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

付録A デーモン実行時のメッセージ

KDGN014-E FAILED to send SERVICE_RUNNING for initialize file error or shared memory error

内容

「Groupmax System Agent-TCP/IP」デーモン起動時、共有メモリ作成エラー又は起動時に使用する内部ファイル参照失敗のためエラー終了した。

対処

再起動してください。再起動してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから保守員に連絡してください。

KDGN998-E GSAGT.shut: System Unknown

内容

OS名が不明であるため、System Agent - TCP/IP終了処理が行われなかった（unameコマンドの失敗）。

対処

なし。ただし、このエラーが再発する場合は、保守員に連絡してください。

KDGN999-E GSAGT.rc: System Unknown

内容

OS名が不明であるため、System Agent - TCP/IP起動処理が行われなかった（unameコマンドの失敗）。

対処

sysactlコマンドで起動してください。このエラーが再発する場合は、保守員に連絡してください。

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

ここでは、運用コマンドで表示されるメッセージについて説明します。

補足：対処が「System Agent - TCP/IPの障害取得を行う」の場合

通常は、System Manager - TCP/IP上で障害情報を取得してください。

ただし、デーモンダウン、通信障害などでSystem Manager - TCP/IP上での障害情報を取得できない場合は、System Agent - TCP/IP上で次の操作をしてください。

HI-UX/WE2の場合

1. スーパーユーザでログインする
2. コマンド「/usr/GsAgt/bin/GSMRS」を実行する
3. コマンド「cd /usr/GsAgt」を実行する
4. コマンド「tar cvf RAS.tar 5H7A* ras/5H7A*」を実行する
「RAS.tar」ファイルと「/usr/adm/syslogfile」ファイルを保守員に渡してください。

HP-UXの場合

1. スーパーユーザでログインする
2. コマンド「/opt/GsAgt/bin/GSMRS」を実行する
3. コマンド「cd /opt/GsAgt」を実行する
4. コマンド「tar cvf RAS.tar 9A49* ras/9A49*」を実行する
「RAS.tar」ファイルと「/var/adm/syslog/syslog.log」ファイルを保守員に渡してください。

付録B.1 sysagtコマンド

sysagtコマンドが出力するメッセージについて説明します。なお、メッセージ中のxxxxxはstart又はstopが表示されます。

usage : sysagt {start | stop}

内容

コマンドの引数が不正である。

対処

引数には、start又は stopを指定してください。

System Agent - TCP/IP Start Succeeded

内容

起動に成功した。

対処

—

System Agent - TCP/IP Stop Succeeded

内容

停止に成功した。

対処

—

System Agent - TCP/IP Start Failed(Already Started)

内容

既に起動している。

対処

—

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

System Agent - TCP/IP Stop Failed(Already Stopped)

内容

既に停止している。

対処

—

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Permission denied or Failed to get agent install path.)

内容

コマンドが実行できない。コマンドを実行する権限がない。又はSystem Agent - TCP/IPのインストール位置が不明又は不正である。

対処

スーパーユーザで実行してください。それでも実行できない場合は、System Agent - TCP/IPを再インストールしてください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Failed to get agent install path.)

内容

System Agent - TCP/IPのインストール位置が不明又は不正である。

対処

System Agent - TCP/IPを再インストールしてください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Permission denied / No root.)

内容

コマンドが実行できない。コマンドを実行する権限がない。

対処

スーパーユーザで実行してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Duplicate running.)

内容

現在同じコマンドが実行中のため、実行を中断した。

対処

しばらくしてから、再実行してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(File open failed. File =ファイルパス(errnoエラー番号))

内容

指定されたファイルをオープンできない。

対処

表示されたファイルとパーミッションを確認してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Failed to ftok.((key:キー番号) file =ファイル名(errno)エラー番号))

内容

ftok関数のエラー。

対処

HI-UX/WE2の場合は「/usr/GsAgt/bin/gsamaind」、HP-UXの場合は「/opt/GsAgt/bin/gsamaind」があるかどうか確認してください。このファイルがある場合は、再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合やファイルがない場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから保守員に連絡してください。

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Shared memory information get error.(errnoエラー番号))

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Shared memory information get error.(LockHost:0))

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Shared memory information get error. ContDll = 起動コマンド 停止コマンド)

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Shared memory information get error.)

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Memory mapping error.)

内容

System Agent - TCP/IPが停止中にコマンドを実行した (エラー番号22)。又は共有メモリの取得に失敗した。

対処

コマンド「sysactl△stop△agent」でいったんSystem Agent - TCP/IPを停止した後、コマンド「sysactl△start△agent」を実行してSystem Agent - TCP/IPを再起動してから、再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(FAILED to execute map_shm.)

内容

共有メモリのマッピングに失敗した。

対処

コマンド「sysactl△stop△agent」でいったんSystem Agent - TCP/IPを停止した後、コマンド「sysactl△start△agent」を実行してSystem Agent - TCP/IPを再起動してから、再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Process xxxxx failed. process = Agent daemon(pid:プロセス番号))

内容

起動、停止に失敗した。

対処

コマンド「sysactl△stop△agent」でいったんSystem Agent - TCP/IPを停止した後、コマンド「sysactl△start△agent」を実行してSystem Agent - TCP/IPを再起動してから、再実行してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Server schedule running locked by Agent.)

内容

System Agentが現在計画運用のスケジュール処理中のため、実行できない。

対処

スケジュール実行中はsysagtコマンドを使用する事はできません。
スケジュール処理完了後に再度実行してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Server schedule running locked by Agent. IP-Address

[xxx.xxx.xxx.xxx])

内容

System Agentが現在計画運用のスケジュール処理中のため、実行できない。

対処

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

スケジュール実行中はsysagtコマンドを使用する事はできません。
スケジュール処理完了後に再度実行してください。

System Agent – TCP/IP Stop Failed(System busy now. Retry Agent stop command)

内容

停止時に設定されている処理待機時間30秒をオーバーしたため、停止処理を中断した。

対処

コマンド「sysagt△stop」を再実行してください。

System Agent – TCP/IP xxxxx Succeeded (Warning : Unmap shared memory.)

内容

起動、停止の処理に成功したが、共有メモリ識別子の解放に失敗した。

対処

このまま運用を続けても、問題はありません。

System Agent – TCP/IP xxxxx Failed(Failed to fork function.(errno エラー番号))

System Agent – TCP/IP xxxxx Failed(Failed to fork function.)

内容

fork関数のエラー。一時的にメモリが不足しているか、プロセス数が既定値を超えている。

対処

不必要なプロセスを停止させるか、メモリを増設してください。

System Agent – TCP/IP Start Failed(Agent daemon be killed.)

内容

System Agent – TCP/IPが起動処理中に、停止した。

対処

コマンド「sysactl△stop△agent」でいったんSystem Agent – TCP/IPを停止した後、コマンド「sysactl△start△agent」を実行してSystem Agent – TCP/IPを再起動してから、再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent – TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

System Agent – TCP/IP xxxxx Failed(lock_semopen error.)

内容

排他制御識別子を取得できなかった。

対処

コマンド「sysactl△stop△agent」でいったんSystem Agent – TCP/IPを停止した後、コマンド「sysactl△start△agent」を実行してSystem Agent – TCP/IPを再起動してから、再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent – TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

System Agent – TCP/IP xxxxx Failed(FAILED to execute dolock.)

内容

排他制御に失敗した。

対処

コマンド「sysactl△stop△agent」でいったんSystem Agent – TCP/IPを停止した後、コマンド「sysactl△start△agent」を実行してSystem Agent – TCP/IPを再起動してから、再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent – TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Other manager already exists.)

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Other manager already exists. IP-Address [IPアドレス])

内容

IPアドレス(不明な場合は非表示)の, System Manager - TCP/IPが現在処理中のため, 実行できない。

対処

しばらくしてから, コマンドを再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は, System Manager - TCP/IP上でロックの強制解除をした後, 再実行してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(LockHost prohibition! (ロックホスト値))

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Failed status(LockHost:0))

内容

必要な情報の取得に失敗したため, 処理を中断した。

対処

コマンド「sysactl△stop△agent」でいったんSystem Agent - TCP/IPを停止した後, コマンド「sysactl△start△agent」を実行してSystem Agent - TCP/IPを再起動してから, 再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は, System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから, 保守員に連絡してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(command error(commandコマンド名))

内容

コマンド名で指定したコマンドが実行されない。又は不正な結果を返した。

対処

コマンドの存在を確認してください。存在しない場合は, System Agent - TCP/IPを再インストールしてください。存在する場合は, コマンド「sysactl△stop△agent」でいったんSystem Agent - TCP/IPを停止した後, コマンド「sysactl△start△agent」を実行してSystem Agent - TCP/IPを再起動してから, 再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は, System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから, 保守員に連絡してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Succeeded(unlock error)

内容

System Agent - TCP/IPの起動, 停止に成功したが, 排他処理に失敗した。

対処

再実行しても, エラーが表示される場合は, コマンド「sysactl△stop△agent」でいったんSystem Agent - TCP/IPを停止した後, コマンド「sysactl△start△agent」を実行してSystem Agent - TCP/IPを再起動してから, 再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は, System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから, 保守員に連絡してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(wait error:(errnoエラー番号))

内容

wait関数が失敗しました。

対処

再実行してください。再実行しても, エラーが表示される場合は, コマンド「sysactl△stop△agent」でいったんSystem Agent - TCP/IPを停止した後, コマンド「sysactl△start△agent」を実行してSystem Agent - TCP/IPを再起動してから, 再実行してください。再実行

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(LockHost prohibition! (IPアドレス))

内容

共有メモリに書き込みができない。

対処

再実行しても、エラーが表示される場合は、コマンド「sysactl△stop△agent」でいったんSystem Agent - TCP/IPを停止した後、コマンド「sysactl△start△agent」を実行してSystem Agent - TCP/IPを再起動してから、再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(File close failed. file = ファイル名 (errno エラー番号))

内容

ファイルのクローズに失敗した。起動、停止処理は正常終了している場合もある。

対処

再実行してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(dup error. (errnoエラー番号))

内容

ファイルの複製に失敗した。

対処

再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

System Agent - TCP/IP xxxxx Failed(Agent service daemon Initialize operation running.)

内容

「GroupmaxSystemAgent-TCP/IP」デーモンが起動、又は終了処理中に実行されたため、処理を中止した。

対処

再実行してください。再実行の結果、ほかのエラーメッセージが表示される場合は、そちらのメッセージの対処を参照してください。

付録B.2 sysasetコマンド

sysasetコマンドが出力するメッセージについて説明します。

Environment setting information's.

内容

現在の設定状況の表示。

現在の計画運用実行間隔、計画運用最大設定数、クラスタ(フェイルオーバー-ON/OFF)、仮想ホスト名の設定値を表示します。

対処

—

ERROR:Environment setting information's are invalid. Install System Agent - TCP/IP again

内容

環境設定情報が不正です。System Agent - TCP/IPを再インストールしてください。

対処

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

再実行してもエラーが発生する場合は、再インストールを行ってください。

Failed in update of service file. [詳細情報]

内容

サービスの設定に失敗した。

詳細情報には、エラー又は、4つのサービスに付いて設定状況が表示されます。

対処

各サービスが、Setup End(xx Service Added)以外の状態の場合は、servicesファイル内のポート番号を、手動でほかで使用されていないポート番号に設定し直してください。

Failed in save of setup information. [詳細情報]

内容

環境設定の値の保存に失敗した。詳細情報には、エラーの原因が表示されます。

対処

再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

Please specify cluster-hostname.

内容

仮想ホスト名を入力してください。

対処

仮想ホスト名を入力してください。

Setup End (Save succeeded)

内容

正常終了。サービスの設定、環境設定値の保存に成功しました。

対処

—

Setup End (Service Added)

内容

すべてのサービスの設定が終了した。

対処

—

Setup End (xxxx Service Added)

内容

x x x x サービスが設定された。

対処

—

Setup End (xxxx Service Already Added by Other Port yyyy)

内容

x x x x サービスは、推奨ポート番号ではないy y y yで既に使用されている。

対処

—

Setup Failed (XXXX Service Not Added, Port yyyy Already Used)

内容

推奨ポート番号XXXXは他のサービスで使用されているため設定できない。

対処

serviceファイルを編集して、x x xサービスを設定してください。

Setup Failed (chmod function error[エラー番号].file[ファイル名] permission[nn])

内容

chmod関数のエラーである。

対処

ファイルのパーミッションを確認してください。

再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

Setup Failed (chown function error[エラー番号].file[ファイル名].uid[nn].gid[mm])

内容

chown関数のエラーである。

対処

ファイルのオーナー、グループIDを確認してください。

再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

Setup Failed (Duplicate running.)

内容

現在同じコマンドが実行中のため、実行を中断する。

対処

しばらくしてから、再実行してください。

Setup Failed (fputs function error[エラー番号].file[ファイル名])

内容

fputs関数のエラーである。

対処

ファイルが存在する事を確認してください。

再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

Setup Failed (fopen function error[エラー番号].file[ファイル名])

内容

fopen関数のエラーである。

対処

ファイルパス・パーミッションを確認してください。

Setup Failed (fprintf function error[エラー番号].file[ファイル名])

内容

fprintf関数のエラーである。

対処

ファイルが存在する事を確認してください。再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

Setup Failed (gethostbyname function error[エラー番号].hostname[ホスト名])

内容

gethostbyname関数のエラーである。

対処

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

hostsファイルの設定状況を確認してください。再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

Setup Failed (Install path error.)

内容

System Agent - TCP/IPのインストール位置が不明又は不正である。

対処

System Agent - TCP/IPを再インストールしてください。

Setup Failed (lock_semopen error.)

内容

セマフォの初期化処理に失敗しました。

対処

再実行してもエラーが発生する場合は、Groupmax System Agent - TCP/IPの障害情報を取得のうえ保守員に連絡してください。

Setup Failed (Permission denied / No root.)

内容

コマンドが実行できない。コマンドを実行する権限がない。

対処

スーパーユーザーで実行してください。

Setup Failed (rename function error[エラー番号].file[元ファイル名].file[新ファイル名])

内容

rename関数のエラーである。

対処

元ファイルが存在する事を確認してください。再実行してもエラーが発生する場合は、再インストールを行ってください。

Setup Failed (stat function error[エラー番号].file[ファイル名])

内容

stat関数のエラーである。

対処

再実行してもエラーが発生する場合は、Groupmax System Agent - TCP/IPの障害情報を取得のうえ保守員に連絡してください。

Setup Failed (sysaset no arguments.)

内容

sysaset実行時の引数が不正である。

対処

引数はありません。

Setup Failed (unlink function error[エラー番号].file[ファイル名])

内容

unlink関数のエラーである。

対処

ファイルが存在する事を確認してください。再実行してもエラーが発生する場合は、手動でファイルを削除してください。

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

Succeeded in update of service file.

内容

サービスの設定に成功した。

対処

—

Succeeded in save of setup information.

内容

環境設定の値の保存に成功した。

対処

—

WARNING:Agent daemon is not stopped. You can only select 1 or 9.

内容

Groupmax System Agent - TCP/IPが停止状態ではありません。設定を行う事はできません。

対処

メニューの1番と9番だけの画面が表示されます。1番を選択すると設定値の参照は可能ですが、設定の変更はできません。設定を変更する場合は、`sysactl△stop△agent`を実行し、エージェントデーモンの停止を確認してから、`sysaset`コマンドを再起動してください。

WARNING:Environment setting information's are invalid.

内容

環境設定ファイル情報が不正です。

対処

設定処理を続行します。再設定を行い、Exit(Save)で設定を保存してから終了してください。

WARNING:Invalid Cluster-hostname. Continue setup? (y/n)

内容

入力された仮想ホスト名がネットワーク上で確認できません、このまま仮想ホスト名として設定してもよろしいですか?

対処

設定する場合は、`y`を入力してください。仮想ホスト名を再入力する場合は、`n`を入力してください。

WARNING:Invalid interval time of execute for schedule.

内容

10から1440以外の値を入力された。

対処

10から1440までの整数を再入力してください。

WARNING:Invalid value [%d], Interval time of execute for schedule[10 to 1440].So, show default value [30].

内容

計画運用実行間隔に10から1440以外の値[%d]が設定されている。デフォルト値30を表示する。

対処

10から1440までの整数を再入力してください。

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

WARNING:Invalid value [%d], Maximum number of specify for schedule[1 to 100].So, show default value [40].

内容

計画運用最大設定数に1から100以外の値[%d]が設定されている。デフォルト値40を表示する。

対処

1から100までの整数を再入力してください。

WARNING:Current number of schedules is %d. Specify big number more than %d.

内容

1から100以外の値、又は登録されているスケジュール数[%d]よりも小さい値を入力された。

対処

%dから100までの値を再入力してください。

付録B.3 sysaautoコマンド

sysaautoコマンドが出力するメッセージについて説明します。

なお、メッセージ中のxxxxxはall, agent, smras, smadmin, backupのどれかが表示されます。

usage : sysaauto {on | off | status}{all | agent | smras | smadmin | backup}

内容

実行時に不正な引数を指定した。

対処

正しく引数を指定してください。引数の指定については、「4.3運用コマンドの文法」を参照してください。

Auto Setup xxxxx Failed(Permission denied or Failed to get agent install path.)

内容

コマンドが実行できない。コマンドを実行する権限がない。又はSystem Agent - TCP/IPのインストール位置が不明又は不正である。

対処

スーパーユーザで実行してください。それでも実行できない場合は、System Agent - TCP/IPを再インストールしてください。

Auto Setup xxxxx Succeeded(on)

内容

自動起動の設定に成功した。

対処

—

Auto Setup xxxxx Succeeded(off)

内容

自動起動の解除に成功した。

対処

—

Auto Setup xxxxx Status(on)

内容

自動起動に設定されている。

対処

Auto Setup xxxxx Status(off)

内容

自動起動は解除されている。

対処

Auto Setup xxxxx Failed(File open failed. file = ファイル名(errno エラー番号))

内容

ファイルの作成に失敗した。

対処

ファイルパスを確認してから、コマンドを再実行してください。

Auto Setup xxxxx Failed(Failed to unlink. file = ファイル名(errno エラー番号))

内容

ファイルの削除に失敗した

対処

ファイルパスを確認してから、コマンドを再実行してください。

付録B.4 sysactlコマンド

sysactlコマンドが出力するメッセージについて説明します。

なお、メッセージ中のxxxxxはall, agent, smras, smadmin, backupのどれかが表示されます、yyyyには、Start, Stop, Statusのどれかが表示されます。

usage : sysactl {start | stop | status}{all | agent | smras | smadmin | backup}

内容

実行時に不正な引数を指定した。

対処

正しく引数を指定してください。引数の指定については、「4.3運用コマンドの文法」を参照してください。

xxxxx Daemon yyyy Failed(Permission denied or Failed to get agent install path.)

内容

コマンドが実行できない。コマンドを実行する権限がない。又はSystem Agent - TCP/IPのインストール位置が不明又は不正である。

対処

スーパーユーザで実行してください。それでも実行できない場合は、System Agent - TCP/IPを再インストールしてください。

xxxxx Daemon yyyy Failed(Duplicate running.)

内容

現在同じコマンドが実行中のため、実行を中断する。

対処

しばらくしてから、再実行してください。

xxxxx Daemon Start Succeeded.

内容

デーモンの起動に成功した。

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

対処

—

xxxxx Daemon Stop Succeeded.

内容

デーモンの停止に成功した。

対処

—

xxxxx Daemon Status (running)

内容

デーモンは既に起動している。

対処

—

xxxxx Daemon Status (stopped)

内容

デーモンは既に停止している。

対処

—

xxxxx Daemon Start Failed(Already running)

内容

デーモンは既に起動している。

対処

—

xxxxx Daemon Stop Failed(Already stopped)

内容

デーモンは既に停止している。

対処

—

xxxxx Daemon yyyy Failed(Failed to fork function. (errno エラー番号))

内容

fork関数が失敗した。一時的にメモリが不足しているか、プロセス数が既定値を超えている。

対処

不必要なプロセスを停止させるか、メモリを増設してください

xxxxx Daemon yyyy Failed(Internal error)

内容

内部エラーが発生した。

対処

再実行してもエラーが発生する場合は、Groupmax System Agent - TCP/IPの障害情報を取得のうえ保守員に連絡してください。

xxxxx Daemon yyyy Failed(lock_semopen error.)

内容

lock_semopen関数のエラーである。

対処

付録B 運用コマンド実行時のメッセージ

再実行してもエラーが発生する場合は、Groupmax System Agent - TCP/IPの障害情報を取得のうえ保守員に連絡してください。

xxxxx Daemon yyyy Failed(Shared memory information get error)

内容

共有メモリのアクセスに失敗した。

対処

再実行してもエラーが発生する場合は、Groupmax System Agent - TCP/IPの障害情報を取得のうえ保守員に連絡してください。

xxxxx Daemon yyyy Failed(wait error. errno(エラー番号))

内容

wait関数が失敗しました

対処

再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してから、保守員に連絡してください。

xxxxx Daemon Start Failed(timeout:600 sec)

内容

処理待機時間10分を過ぎても、デーモンが起動しなかったため、起動処理を中止した。

対処

再実行してもエラーが発生する場合は、Groupmax System Agent - TCP/IPの障害情報を取得のうえ保守員に連絡してください。

agent Daemon yyyy Failed(Agent service daemon Initialize operation running)

内容

agentデーモンが現在起動又は、停止処理中のため、起動を中断した。

対処

処理待機時間10分待ってから、再度実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は、Groupmax System Agent - TCP/IPの障害情報を取得のうえ保守員に連絡してください。

xxxxx Daemon Stop Failed(timeout:経過時間sec, 対象デーモンis running.pid:プロセスID))

内容

設定されている処理待機時間30秒を過ぎてもデーモンが停止しなかったため、処理を中断した。

対処

5分待ってから再実行してください。再実行してもエラーが発生する場合は、表示されたプロセスIDに対してkill -9を実行し、強制終了させてください。また、必要に応じて強制終了する前に、System Agent - TCP/IPの障害情報を取得してください。

索引

G

Groupmaxサーバの起動又は停止, 7
Groupmaxサーバの機能ごとの起動又は停止, 7
Groupmaxサーバの計画起動又は計画停止, 7
Groupmaxサーバの構成変更の通知, 7
Groupmaxサーバの構成変更の手順, 7

S

servicesファイルの設定, 13
sysaauto, 22
sysactl, 23
sysagt, 24
sysaset, 25

あ

アンインストール, 11

い

インストール, 11
インストール状況の通知, 6
インストールする前に, 10

う

運用コマンド一覧, 20
運用コマンドの指定方法, 21
運用コマンドの文法, 22

か

稼働状態の通知, 6
稼働状態の変化の通知, 6
稼働情報管理機能, 8
稼働情報の取得, 8

き

起動, 16
起動スクリプト, 14
機能, 6
機能ごとの稼働状態の通知, 6

し

システム構成, 3
システム統合運用管理システム, 2
自動起動の設定, 13
障害情報の取得, 8

て

停止, 17
データベースの再編成時期の通知, 7
デーモン, 5

は

バージョン情報の通知, 6
バックアップスケジュール機能, 8

め

メッセージ, 30

最後までしっかりと読み直し、丁寧に御返答ください。

ごあいさつ

拝啓

平素より、日立製品を御利用いただき、誠にありがとうございます。
弊社では、分かりやすく使いやすいマニュアルを目指し、お客様の御要望を活かしたマニュアル作りを進めております。

このマニュアルをより使いやすくするため、添付のアンケートに御回答ください。

なお、電子メールで御回答の場合、項番1については項目番号と回答番号

(例：A-a-①)をお書きください。

電子メールアドレス： ti@soft.hitachi.co.jp

お客様から頂いた御意見を糧に、さらに分かりやすく使いやすいマニュアル作りを心がけて参ります。

率直な御意見をお寄せくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

敬具

第2折

マニュアル名 (Groupmax System Agent - TCP/IP Version 5 システム管理者ガイド)

第2折

1. 下記の項目について該当する御意見に○印を付けてください。

AからCまでの回答が③の場合は具体的な該当ページも御記入ください。 マニュアル番号

3000-3-A50-

A. 理解しやすさについてお尋ねします

- a. 文章は → ①分かりやすい ②どちらともいえない ③分かりにくい (ページ)
- b. 図や表の内容は → ①分かりやすい ②どちらともいえない ③分かりにくい (ページ)
- c. 例題の内容は → ①分かりやすい ②どちらともいえない ③分かりにくい (ページ)
- d. 専門用語の説明は → ①分かりやすい ②どちらともいえない ③分かりにくい (ページ)

B. 知りたいところ、見たいところの見つけやすさをお尋ねします

- a. 目次、索引から知りたいところは → ①すぐ見つかる ②だいたい見つかる ③なかなか見つからない (ページ)
- b. 章・節のタイトルは、内容と → ①対応する ②だいたい対応する ③対応していない (ページ)
- c. 章・節の配置は → ①うまく見つかる ②だいたい見つかる ③見つけにくい (ページ)

C. 情報の価値、情報量についてお尋ねします

- a. 知りたい情報は → ①ある ②だいたいある ③ないことが多い (ページ)
- b. 使い方の説明と実務は → ①うまく対応する ②だいたい対応する ③対応していない (ページ)
- c. 余分な情報は → ①ほとんどない ②少ない ③多い (ページ)
- d. 図や表の数は → ①丁度よい ②もっと多く ③もっと少なく (ページ)
- e. 例題は → ①役立った ②ほぼ役立った ③役に立たない (ページ)

第1折

D. 体裁についてお尋ねします

- a. 文字の大きさは → ①丁度よい ②もっと大きく ③もっと小さく
- b. マニュアルの大きさは → ①丁度よい ②もっと大きく ③もっと小さく
- c. 頁を開いたときの印象は → ①好感がもてる ②どちらともいえない ③好感がもてない
- d. 表紙のデザイン、色は → ①好感がもてる ②どちらともいえない ③好感がもてない

2. 総合評価をお願いします。

★100点満点で見ると、このマニュアルの評価はいかがでしょうか () 点

3. このマニュアルについて具体的な御意見、御要望をお聞かせください。

ソフトウェアマニュアルのサービス ご案内

ソフトウェアマニュアルについて、3種類のサービスをご案内します。ご活用ください。

1. マニュアル情報ホームページ

ソフトウェアマニュアルの情報をインターネットで公開しております。

URL <http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/>

ホームページのメニューは次のとおりです。

- Web 提供マニュアル一覧 インターネットで参照できるマニュアルの一覧を提供しています。
(詳細は「2. インターネットからのマニュアル参照」を参照してください。)
- CD-ROM マニュアル情報 複数マニュアルを格納した CD-ROM マニュアルを提供しています。どの製品に対応した CD-ROM マニュアルがあるか、を参照できます。
- マニュアルに関するご意見・ご要望 マニュアルに関するご意見、ご要望をお寄せください。

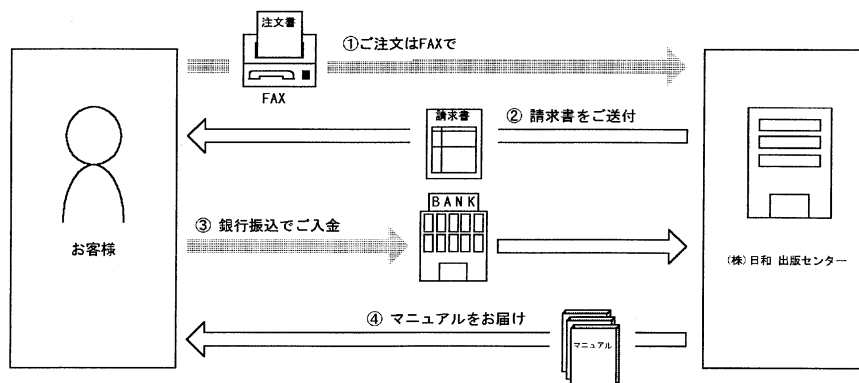
2. インターネットからのマニュアル参照 (ソフトウェアサポートサービス)

ソフトウェアサポートサービスの契約をしていただくと、インターネットでマニュアルを参照できます。(本サービスの対象となる契約の種別、及び参照できるマニュアルは、マニュアル情報ホームページでご確認ください。参照できるマニュアルは、クライアント/サーバ系の日立オープンミドルウェア製品を中心に順次対象を拡大予定です。)

なお、ソフトウェアサポートサービスは、マニュアル参照だけでなく、対象製品に対するご質問への回答、問題解決支援、バージョン更新版の提供など、お客様のシステムの安定的な稼働のためのサービスをご提供しています。まだご契約いただいている場合は、ぜひご契約いただくことをお勧めします。

3. マニュアルのご注文

裏面の注文書でご注文ください。



- ① マニュアル注文書に必要な事項をご記入のうえ、FAXでご注文ください。
- ② ご注文いただいたマニュアルについて、請求書をお送りします。
- ③ 請求書の金額を指定銀行へ振り込んでください。なお、送料は弊社で負担します。
- ④ 入金確認後、7日以内にお届けします。在庫切れの場合は、納期を別途ご案内いたします。

(株) 日和 出版センター 行き

FAX 番号 0120-210-454 (フリーダイヤル)

日立マニュアル注文書

| | |
|------------------------|------------------------------|
| ご注文日 | 年 月 日 |
| 送付先ご住所 | 〒 |
| お客様名 (団体名, 又は法人名など) | |
| お名前 | |
| 電話番号 | () |
| FAX 番号 | () |

| 資料番号 | マニュアル名 | 数量 |
|------|--------|----|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | |

マニュアルのご注文について、ご不明な点は
(株) 日和 出版センター (TEL 03-5281-5054) へお問い合わせください。